

# 令和6年度 旭川市彫刻美術館事業計画

## 1 彫刻美術館事業活動

### (1) 展示活動

概要 中原悌二郎の全12作品や歴代の中原悌二郎賞受賞作品等の常設展示を通じて、館が誇る収蔵作品の魅力をわかりやすく伝えるとともに、外部機関や団体との協働を図ること等により、できるだけ多彩な展示内容の企画展を開催し、リピーター層の確保とともに、市民が新たに彫刻に関心をもつ機会を提供できるよう努めていく。

ア 本館及び分館の展示内容 別紙「事業活動一覧」のとおり

### (2) 開館30周年事業

概要 彫刻美術館本館の開館30周年の節目をきっかけとして、市民が気軽に来館できる機会を提供し、新たに彫刻に関心をもつ市民を増やすため、開館日の6月1日に無料開館を実施するほか、すでに実施してきている市民参加型の事業である彫刻教室を拡充して実施する（実施回数の増）。

#### ア こども彫刻教室

- (ア) 実施時期 令和6年7月上旬 2回
- (イ) 内容 小学生とその保護者を対象として簡易的な彫刻制作を体験する機会を設ける。具体的な制作テーマや素材については講師と相談し決定する。
- (ウ) 定員 各回 親子10組程度
- (エ) 会場 本館研修室
- (オ) 講師 市内在住の大学教授、彫刻家、関連団体等から選任

#### イ 彫刻教室

- (ア) 実施時期 令和6年9月上旬 1回
- (イ) 内容 市民を対象として簡易的な彫刻制作を体験する機会を設ける。具体的な制作テーマや素材等については講師と相談し決定する。
- (ウ) 定員 一般10名程度
- (エ) 会場 本館研修室
- (オ) 講師 企画展展示作家

### (3) 教育普及活動

概要 彫刻の解説を聞く、制作を体験するといった市民対象の事業を実施し、見るだけでは分からないことや体験して感じられる部分を伝えることで、彫刻を愛好する層の拡大とともに、新たに彫刻に関心をもつ市民を増やすよう努める。

なお、各事業の定員等は、新型コロナウイルス感染症の感染状況等に配慮しながら決定する場合がある。

#### ア 旭川彫刻散歩

- (ア) 実施時期 令和6年9月～11月頃 1回
- (イ) 内 容 市民を対象に、旭川市内の野外彫刻について親しむ機会を設けながら、彫刻に対する理解を深めてもらうことを目的に、市内の野外彫刻等を講師の解説を交えながら鑑賞する。
- (ウ) 定 員 各回 一般20名(市マイクロバス乗車定員)

#### イ こども彫刻教室

- (ア) 実施時期 ①令和6年8月上旬(夏休み期間中) 2回  
②令和6年11月下旬 1回 計3回
- (イ) 内 容 小学生とその保護者を対象として簡易的な彫刻制作を体験する機会を設ける。具体的な制作テーマや素材については講師と相談し決定する。
- (ウ) 定 員 各回 親子10組程度
- (エ) 会 場 本館研修室
- (オ) 講 師 市内在住の大学教授、彫刻家、関連団体等から選任

#### ウ 彫刻教室

- (ア) 実施時期 令和6年11月下旬
- (イ) 内 容 市民を対象として簡易的な彫刻制作を体験する機会を設ける。具体的な制作テーマや素材等については講師と相談し決定する。
- (ウ) 定 員 一般10名程度
- (エ) 会 場 本館研修室
- (オ) 講 師 企画展展示作家

### (4) 彫刻巡回展示事業

概要 児童や生徒及び父母等に優れた彫刻作品を身近な環境で鑑賞してもらうために、市内の小中学校等を対象にして彫刻美術館が所蔵する作品を巡回展示する。また、巡回展示実施校のうち希望校を対象として、巡回展示作品を鑑賞する出前授業を実施する。

なお、巡回展示は当館の単独事業であるが、出前授業については「旭川地域連携アートプロジェクト」の一環として、旭川市教育研究会図工美術部、北海

道教育大学旭川校との協働により実施する。

#### ア 彫刻巡回展示

- (ア) 時 期 I 期, II 期, III 期, IV 期, V 期 (6 月～12 月)
- (イ) 内 容 彫刻美術館収蔵作品を 4～6 点ずつの 4 つのグループに分け, 固定用の台座とともに市内小中学校等に各期 4 校ずつ巡回展示する。
- ※ 巡回展示の作品台座 (全 8 台) は製作から 20 年以上使用し続けており, 経年劣化による損傷が著しいことから, 鑑賞する児童・生徒の安全確保と作品の保護のため一部更新 (2 台) を行う。

#### イ 出前授業

- (ア) 時 期 巡回展示作品の展示期間中に実施校の希望日に実施する。
- (イ) 内 容 巡回展示作品を使用した彫刻鑑賞授業を行う。
- 出前授業は旭川地域連携アートプロジェクトの一環として運営しており, 同プロジェクト内の巡回展出前授業ワーキンググループで実施内容の精査検討や授業者の調整, 派遣を行う。

### 2 旭川彫刻フェスタ事業

- 概 要 市の各部局と北海道新聞社, 市内の美術関係者が実行委員会を組織して野外彫刻公開制作を中心とした市民参加型の事業を平成 12 年から実施している。
- 令和 6 年度は, 今後の事業のあり方の見直しを予定している。
- なお, 事業の詳細は実行委員会内の企画部会で協議・決定する。

### 3 野外彫刻維持管理事業

- 概 要 野外に設置してある 76 点の彫刻を良好な状態に維持管理するために, ボランティアによる定期的な清掃活動やワックスの塗布を行うとともに, 亀裂や退色等の傷みのある作品を修復する。

#### (1) 野外彫刻清掃ボランティア「旭川彫刻サポート隊」

- ア 人 数 令和 5 年度 94 人
- イ 活動内容 野外彫刻の水洗い清掃, ワックス塗布, 周辺環境整備を夏期間は毎月 1 回 (計 4～5 回), 冬期間中の除雪点検を 1 回程度実施。
- ウ 活動方法 市全域を 8 つに分け, 9 班体制で受け持ちの地域と作品を決めて活動する。活動日は班ごとに決定する。
- エ その他 野外彫刻たんさくマップを必要に応じて改訂し発行する。

## (2) 野外彫刻の修復

彫刻サポート隊による点検等により異常が見つかった彫刻について、必要に応じた修復を行い、適正な維持管理を図る。

## 4 中原悌二郎賞

概要 昭和45年の創設以来、国内で発表された日本人作家の彫刻立体作品のうち、最も優れた作品に中原悌二郎賞を贈呈している。

平成15年の第33回から隔年実施のビエンナーレ形式としており、令和6年度は非開催年に当たり、第44回中原悌二郎賞の選考に向けた資料収集、選考委員会及び贈呈式の開催準備等を行う。

## 5 各種団体への協力等

概要 市内や道内の各種機関、団体等からの依頼に応じて講師の派遣等を行い、市民の彫刻への理解・関心を深めるよう努める。

### (1) 中央中（旧常盤中）学校彫刻清掃

ア 実施時期 令和6年7月頃

イ 内容 地域奉仕活動の一環として、過去30年に渡り市内中心部の野外彫刻清掃を実施している。彫刻美術館は、買物公園や本庁舎の水道栓使用申請に係る各部局との連絡調整と、脚立やスポンジの貸出しなどの協力を行う。

### (2) 講師等派遣

ア 内容 公民館講座やシニア大学等の各団体が主催する事業について、要請を受けて職員を派遣し、彫刻と旭川をテーマとした講話を実施する。

## 6 社会教育施設との連携

概要 社会教育全体の振興と各施設の利用促進のため、市内の社会教育施設が連携し協働して事業を実施する。

### (1) まなびピア関連イベントの開催

ア 実施日 令和7年2月上旬

イ 内容 まなびピアの取り組みとして、市内社会教育施設等が連携し、各施設の周知普及に努める。

## 7 博物館実習

概要 登録博物館として期待される社会的責務に応えるとともに当館の運営と活動に関する理解層の拡大を図るため、大学等からの要請があった場合に博物館実習生を受け入れる。

(1) 実施時期 未定

(2) 内 容 博物館の運営と事業に関する講話、事業体験、仮想企画立案演習等

## 8 作品管理

概要 彫刻美術館では、中原悌二郎と周辺の近代彫刻家の作品、中原悌二郎賞受賞作家の作品、旭川と北海道ゆかりの彫刻家の作品、の3つを方針として作品収蔵を行っており、令和5年度末現在、彫刻作品330点、平面作品903点を収蔵している。また、その他に彫刻作品の石膏原型や資料作品を多数収蔵している。

なお、近年は中原悌二郎賞受賞作品以外の新収蔵は、寄贈によるものが主となっている。

(1) 作品保管 彫刻美術館本館の収蔵庫及び展示準備室、ステーションギャラリーにある2室の収蔵庫で保管している。

企画展等で大型の作品や重量のある作品を移動する際には、館職員と公用車では対応できないため、運送業者への業務委託等により安全性を確保し、適正な作品管理を行う。

(2) 作品貸出 公立、私立等を問わず、作品の使用目的が公共性を有する展示の場合は当館の収蔵作品を積極的に貸出し、館の周知に努めている。貸出しの際には損害保険への加入など適切な作品管理を求めているが、貸出料は徴収していない。貸出しの要請を受けた場合は随時検討する。

彫刻美術館		ステーションギャラリー		教育普及活動
【①収藏品展(みて、ふれて・・・)】 会期:2/27(火)～5/19(日)	4月上旬	【①教職員作品展(パレットのなかま展)】 搬入・展示:3/23(土)・24(日) 会期:3/26(火)～5/25(土) 撤収:5/26(日)	4月上旬	
	4月中旬		4月中旬	
	4月下旬		4月下旬	
	5月上旬		5月上旬	
	5月中旬		5月中旬	
【常設展(木内克中心展示)】 会期:5/25(土)～ 常設展として会期末は定めない。 現在、企画案白紙であり、体制が整った段階 で企画展開催を検討	5月下旬	【建築家協会展】※デザインウィーク 6/15(土)～23(日)含む	5月下旬	
	6月上旬	搬入・展示:5/27(月)	6月上旬	
	6月中旬	会期:5/28(火)～6/30(日)	6月中旬	
	6月下旬	撤収:7/1(月)	6月下旬	
	7月上旬	【織田コレクション①】 搬入・展示:7/2(火) 会期:7/3(水)～9/23(月・祝) 撤収:9/24(火) ※食ベマルシェ期間含む	7月上旬	こども(30)①②
	7月中旬		7月中旬	
	7月下旬		7月下旬	
	8月上旬		8月上旬	こども①②
	8月中旬		8月中旬	
	8月下旬		8月下旬	
	9月上旬		9月上旬	おとな(30)
	9月中旬		9月中旬	
	9月下旬	9月下旬		
	10月上旬	【①収藏品展】 搬入・展示:9/26(木)～27(金)頃 会期:9/28(土)頃～12/15(日)頃 撤収:12/16(月)～17(火)頃	10月上旬	彫刻散歩
	10月中旬		10月中旬	
	10月下旬		10月下旬	
	11月上旬		11月上旬	
	11月中旬	11月中旬		
	11月下旬	11月下旬	こども③ おとな	
	12月上旬	12月上旬		
12月中旬	12月中旬			
12月下旬	12月下旬			
1月上旬	【織田コレクション②】 搬入・展示:12/18(水) 会期:12/19(木)～3/2(日) 撤収:3/3(月) ※冬まつり期間含む	1月上旬		
1月中旬		1月中旬		
1月下旬		1月下旬		
2月上旬		2月上旬		
2月中旬	2月中旬			
2月下旬	2月下旬			
【②収藏品展】	3月上旬	【②収藏品展】	3月上旬	
	3月中旬		3月中旬	
	3月下旬		3月下旬	

※①収藏品展以降、企画案白紙であり、体制も整っていないため、時期をみて2月下旬頃に企画展開催を検討、次期企画展まで常設展として木内克作品を中心に展示する。なお、会期末は定めない。

※SG②収藏品展の内容については、今後の体制を踏まえて別途企画する。